

外国人旅行者に喜んでもらえよう 青森の魅力や資源をアレンジし提供

団体名 公益社団法人 青森県観光連盟
(あおもりけんかんこうれんめい)
所在地 青森市安方1-1-40 青森県観光物産館8階
電話 017-735-5311



HPはこちら

青森県観光物産館「アスパム」

青森県青森市

2018年の青森県の外国人延べ宿泊者数は37万9280人(速報値)と過去最高を記録し、増加率は前年比45・7%増、都道府県別で1位(全国平均11・2%増)となった。この好調を支えているのは、青森県観光連盟による積極的な誘致活動と、同連盟が運営する青森県観光物産館、通称「アスパム」である。青森県のインバウンド対策について、青森県観光連盟専務理事の高坂幹さんに話を伺った。

誘客重点エリアに集中して インバウンドを誘致

JR青森駅に隣接し、かつては青函連絡船が入出港していた港が見下ろせる場所に観光施設アスパム(ASPM)はある。ASPMの名称は青森、観光、物産、館の英文頭文字から付けられたもので、青函連絡船が廃止されて青函トンネルが開通する2年前の1986年4月にオープンした。

「青函トンネル開通により、これからは青森県でも観光を一つの産業として力を入れていこうと考え、そのための観光施設としてアスパムは建てられました。88年の青函トンネル開通記念博覧会の会場にもなり、青森の観光情報の発信拠点、そして青森の特産品の販売拠



▲アスパムの建物は、青森の頭文字であるAの形となっている



▲アスパム2階にあるグローバルラウンジでは旅行商品の販売も行っている

点としてスタートしました。今ではすぐ近くに大型クルーズ船が入出港するターミナルもでき、今年には27隻が来ることになっています。船を下りたお客さまは、まずここに入ってくるようになります」と説明する高坂さんは、2017年4月に青森県観光連盟の専務理事に就任した。以前は青森県庁の観光国際戦略局の局長を務めており、8年前から青森県のインバウンド対策で指揮を執っている。

「新たなインバウンドを呼び込むために、青森県では四つの国と地域——中国、香港、台湾、韓国——をインバウンド誘致重点エリアと定めました。これまでのゴールデンルートが外国人観光客に飽きられ、次に北海道や沖縄が人気になり、さあ、その次はどこに行こうか、

国別のプロモーションで 地域の魅力を伝えていく

青森県観光連盟がインバウンド誘致重点エリアに定めた国と地域に対しては、それぞれの国によって異なるPR展開を行っている。

というタイミングでした。その時期にこれらの重点エリアに集中してインバウンド誘致を行ったことが、今の外国人観光客増加につながったのだと思います」

インバウンド対策というのは一朝一夕で効果が出るものではない。青森県の観光が伸びてきたと高坂さんが感じるようになったのは、今から5年前、高坂さんが県庁でインバウンドに取り組み始めて3年ほどたつてからだという。

特集1

地域の「イチ押し」で インバウンドを呼び込め!

グルメ・特産品・サービス……

2018年、訪日外国人旅行者数は3000万人を超えた。リピーターも増え、訪日の目的が定番観光地や爆買い観光から地方や体験型観光へと変化してきている。そこで、外国人旅行者がこれまであまり訪れなかった地域が新たなグルメ・特産品・サービスを前面に出した新たな「おもてなし」で外国人旅行者を呼び込もうと活動している。全国各地の戦略を探る。

